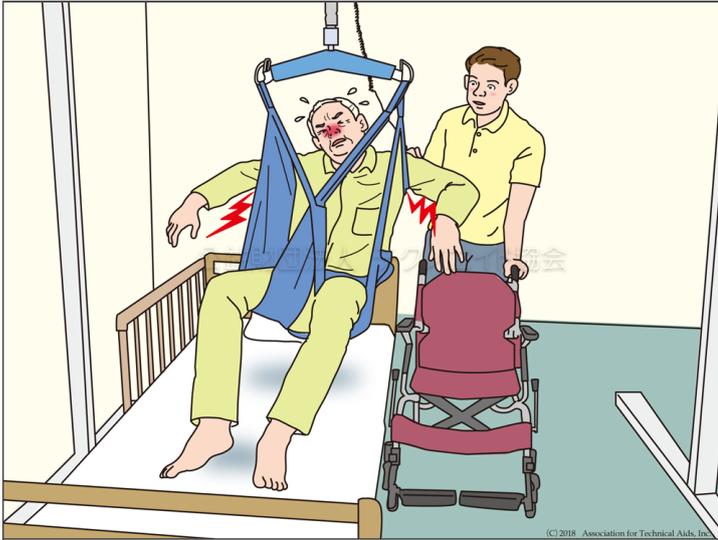


Case : 349

スリングシート使用時に、誤って両腕を外に出していたため、けがしそうになる

場面の説明

腕を外に出すトイレ用と、中に入れるハイバックのスリングシートを使い分けていたが、使用方法を混乱してしまった。



| | |
|----------------|--|
| 利用シーン |  移乗 |
| 主な利用場所 |  寝室 |
| 介護保険の種目 |  移動用リフト（つり具の部分） |
| 分類コード (CCTA95) | 123621 (吊り上げ式リフト用吊具) |
| 介護テクノロジー | — |
| 二次元バーコード |  |

解説

生活場面によってスリングシートを使い分けることがありますが、介護者が不慣れな場合、装着方法を間違えるといった初歩的なミスが起こります。事前に使用方法の実技研修をしっかりと行う必要があります。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：介護者が不慣れで誤った使用方法をとってしまった
- 人：本人が間違いを訴えることができなかった
- モノ：スリングシートを2種類使っていた
- 環境：日常的にリフトを活用する施設だった
- 管理：研修体制に課題があった